

「和食」つて、いしね。

「和食」日本人の伝統的な食文化は、平成25年12月にユネスコ無形文化遺産に登録され、改めてその良さが見直されつつありますが、一方では、とくに若者の和食離れが進んでいるとも言われています。

今回のフォーラムでは、メイン講師に「予約の取れない店」として知られる日本料理店「贊否両論」店主の笠原将弘氏をお迎えし、日本の食文化の保護・継承に向けた取り組みや和食の魅力、和食の代表的素材である味噌の効用についてお話をします。

令和元年 6月8日(土)

13時30分～16時20分(受付13時～)

会場

梧山女学園大学
星ヶ丘キャンパス

参加無料

定員300名(先着順)

事前申込制

ベビーシッターによる
託児あり

2歳以上7歳未満の
未就学児に限ります。

事前申込制



笠原 将弘氏

「自分の国の料理」の素晴らしさ

私たちの食と健康を支えてきた味噌
江崎 秀男氏

農林水産省東海農政局
経営・事業支援部長



主催
梧山女学園食育推進センター

後援

東海農政局、愛知県、愛知県教育委員会、
名古屋市、名古屋市教育委員会、
一般社団法人全国栄養士養成施設協会、
公益社団法人愛知県栄養士会

協賛

Aj **かんこんぱぱ**
味の素株式会社 (伊那食品工業株式会社)
ナカモ **Yakult**
(ナカモ株式会社) (名古屋ヤクルト販売株式会社)

MATSUTANI
(松谷化学工業株式会社)

お問い合わせ先

梧山女学園食育推進センター
052-781-4346

講演
概要

「和食」って、いいね。

13:35~14:05

講演1



坂 治 己 氏

農林水産省東海農政局
経営・事業支援部長

和食文化の保護・継承の取組について

日本の食文化は、四季折々の地域の風土に根ざした豊富な食材が、伝統的な料理や行事等と結びついて形成され、世界に誇ることのできるものです。しかし、食の多様化や社会環境の変化から、この優れた和食文化が十分に継承されず、その特色が失われつつあります。昨年立ち上げた「Let's!和ごはん」プロジェクトをはじめとした、日本の食文化の保護・継承に向けた取組について紹介しつつ、一人ひとりが環境の変化に流されることなく、和食文化に誇りを感じ、ます自分のできる範囲から和食文化を取り入れていくことを考えるきっかけとなればと思います。

略歴

明治大学大学院農学研究科修了。在ザンビア大使館経済協力担当書記官、九州農政局農産課長、中国四国農政局農産課長、復興庁福島復興局参事官、農林水産技術会議事務局国際研究課総括課長補佐、東海農政局企画調整室長等を歴任。国際部国際交渉官を経て、平成31年から現職。

14:05~15:05

講演2



笠原 将弘 氏

日本料理 贅否両論 店主

「自分の国の料理」の素晴らしさ

ユネスコ無形文化遺産に登録されてから「和食」が何かと脚光を浴びるようになった昨今。小学校に給食を作りに行く機会も多いのですが、子どもたちに、好きな食べ物や朝ごはんに何を食べててきたかを尋ねると、朝はほとんどの子がパン、好物は洋食や中華のメニュー名を挙げる子どもたちが多いです。世界にはいろいろな料理があって、私もそれを吃るのは大好きですが、やはり「自分の国の料理」を食べることの大切さを知りたい。和食ならではの素晴らしさ・奥深さを伝えたいと思っています。

略歴

「正月屋吉兆」で9年間修業後、武藏小山にある実家の焼鳥店「とり将」を継ぐ。平成16年、恵比寿に自身の店「贅否両論」を開店。平成25年、名古屋に「贅否両論名古屋」を開店。和食給食応援団東日本代表を務めるなど、食育、和食推進活動にも力を注いでいる。和食の魅力を伝える著書も多数。

15:15~15:45

講演3



江崎 秀男 氏

福山女学園大学生生活科学部
教授(博士(農学))

私たちの食と健康を支えてきた味噌

大豆は良質なたんぱく質や脂質、ビタミン、ミネラル等を豊富に含む栄養価の高い食品です。大豆たんぱく質は血中コレステロールを低下させますが、その他にも骨粗しょう症や乳がんの予防に役立つイソフラボン、ビフィズス菌を増殖させるオリゴ糖、脂肪の燃焼を促進するサボニン等の健康維持に寄与する機能性成分を含んでいます。人々は古くからこの大豆を使い、安全で、おいしく、栄養豊かな発酵食品を作り上げてきました。味噌においても、発酵というプロセスの中で新たな栄養、嗜好、生体調節機能が発現される可能性は大きく、この点についても紹介します。

略歴

岐阜大学大学院農学研究科修士課程修了。名古屋大学大学院生命農学研究科にて、博士(農学)授与。福山女学園大学家政部助手、講師、助教授、准教授を経て、平成26年から現職。(社)日本食品科学工学会にて理事、中部支部支部長等も務める。

総合討論(質疑応答) 15:50~16:15

**HP・メール・FAXにて、氏名・住所・電話番号・
参加人数をご記入の上、お申込みください。**

受付期間 令和元年5月31日(金) <必着>

メール・FAXでのお申込み

E-mail shokuku@sugiyama-u.ac.jp FAX 052-781-8115

参加申込書	代表者	氏名	フリガナ	
		住所	〒	
		電話		
参加人数				
【質問事項】質問がある場合は、ご記入ください。ただし、時間の都合によりお答えできない場合がありますのでご了承ください。				
託児希望	あり	氏名	受講中の緊急連絡先	
	なし	(才)		
	氏名	お子様について特に留意すること		
	(才)			

*申し込みに際してお預かりした個人情報は、フォーラム以外の目的で使用することはありません。

*定員を超えた場合は、モニター室でのご視聴をお願いすることがございます。

*協賛品は数に限りがありますので、あらかじめご了承ください。

*会場内の雰囲気を保つため、未就学児のご入場はご遠慮いただきますようお願いいたします。

HPからのお申込み

食育推進センター

検索

<http://shokuku.sugiyama-u.ac.jp/>

新着情報の「福山女学園大学開学70周年記念フォーラムを開催します!」をクリック。「インターネットでのお申込み URLから福山フォーラム申込みフォームへ。



会場アクセス

